



2010年度 決算説明資料

2011年5月10日



免責事項

◆当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

為替相場の変動

当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更

タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力

当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ



ハイライト

2010年度通期実績

売上 1,204億円 当期純利益13億円(連単とも黒字)

- 通期黒字回復
- 2010年度連結受注1,353億円(前年度比 91.5%増)
- Xクラス受注好調 本格量産開始
- DMG協業 資本関係強化 20.1%の株式取得
- Shenyang・DMGとの中国合弁事業会社設立検討
- 新中期経営計画 GQ-C-SI 123 スタート



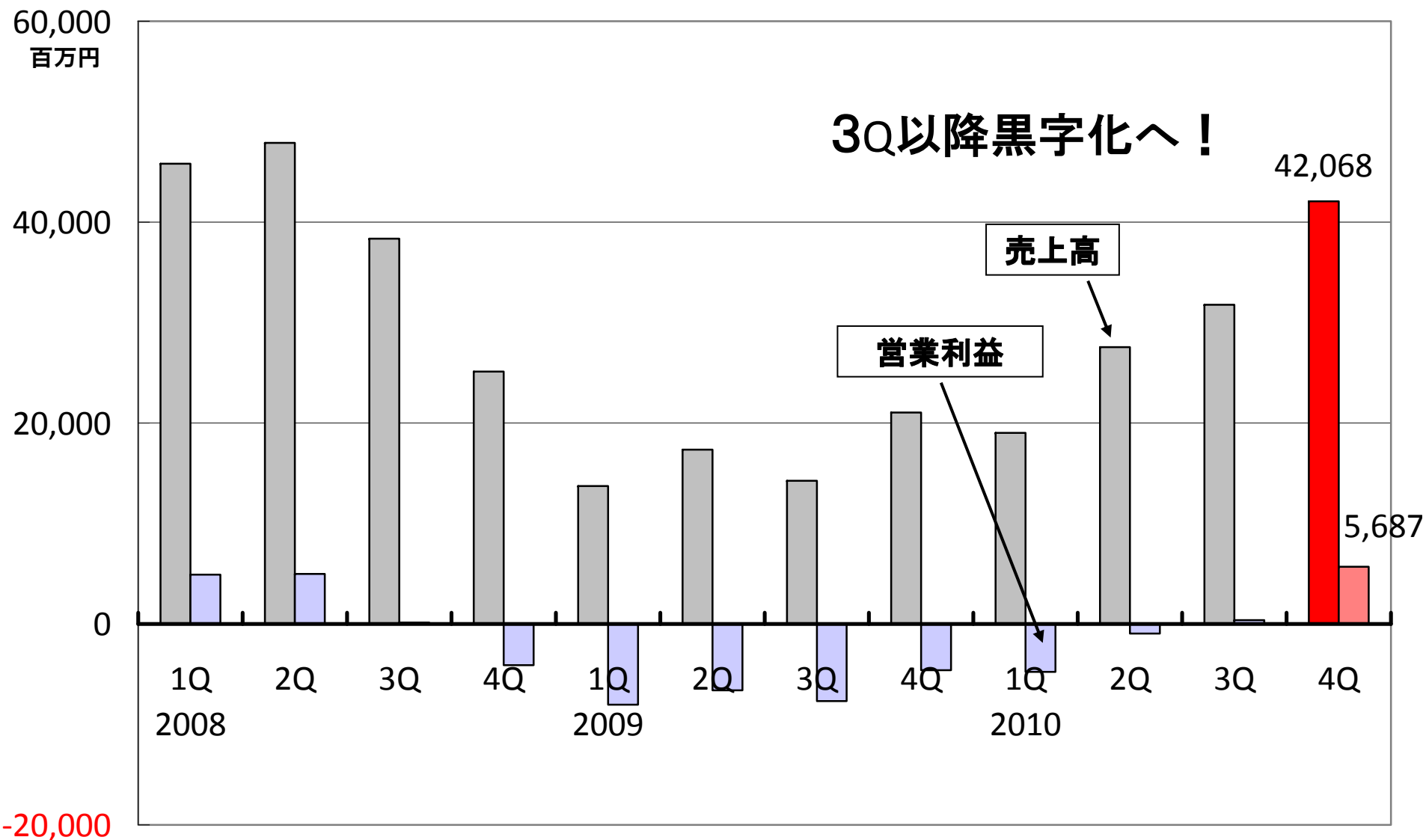
連結損益計算書

(百万円)	FY2009	FY2010		
	通期	上期実績	下期実績	通期実績
売上高	66,402	46,590	73,838	120,428
営業利益	-26,933	-5,740	6,060	320
営業利益率(%)	-40.6%	-12.3%	8.2%	0.3%
経常利益	-26,599	-6,305	6,871	566
経常利益率(%)	-40.1%	-13.5%	9.3%	0.5%
当期純利益	-34,693	-6,108	7,415	1,307
換算レート (1 USD= **円)	92.8	88.9	82.5	85.7
換算レート (1EURO=**円)	131.2	113.8	112.4	113.1

※4Q(1-3月)実績 (1US\$=82.4円、1EURO=112.6円)



連結売上・営業利益実績





震災対策

【復興支援体制】

動員数	200名
被災地顧客数	約5,000社
復旧支援要請顧客数	約1,500社
復旧作業完了顧客数	約 700社

【千葉工場生産機種 伊賀事業所への移管】

時期	2011年4月～9月予定
移管対象機種	NTX1000, NTX2000
移管人員数	約50名



連結貸借対照表

単位: 百万円

2011年3月末		総資産	171,949
現金及び預金	7,418	買掛金	11,451
		その他流動負債	9,680
受取手形	32,085	有利子負債	47,755
及び売掛金		(内借入金)	45,172
		(内転換社債)	2,583
棚卸資産	38,836	その他固定負債	7,735
その他流動資産	7,838	純資産	95,328
有形固定資産	54,421	(内払込資本)	94,995
		(内利益剰余金)	1,365
		(内その他)	-1,032
その他固定資産	31,351		
NetDebt			40,337
自己資本比率			54.6%

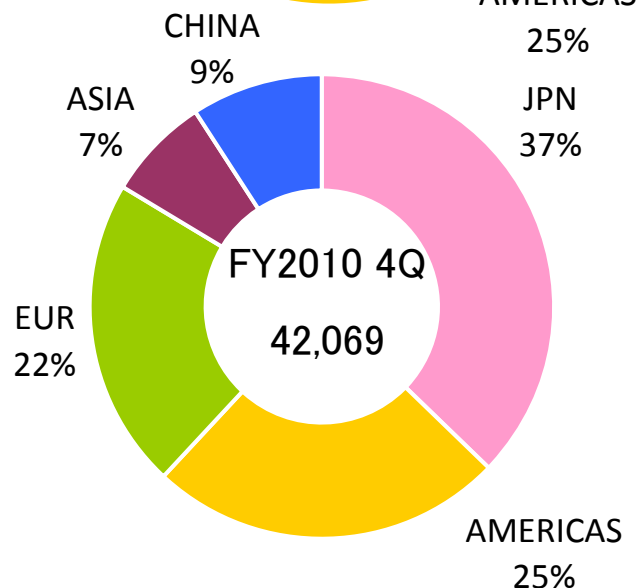
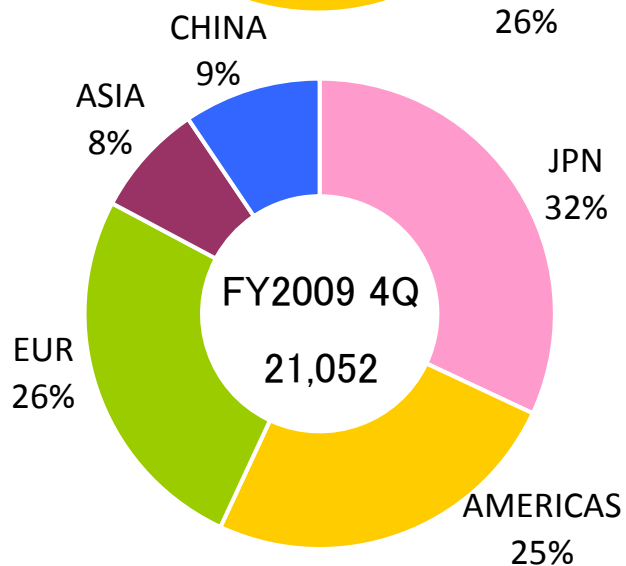
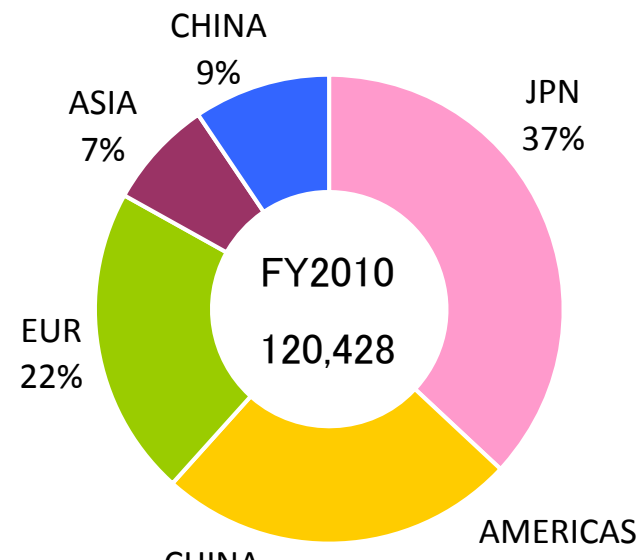
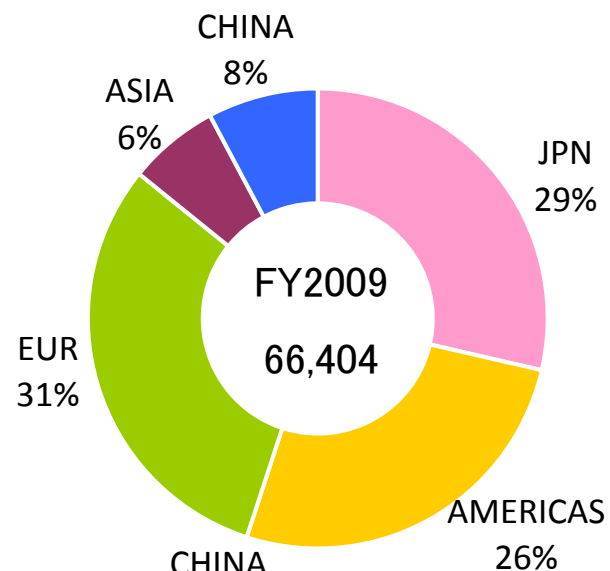


2010年3月末		総資産	144,166
現金及び預金	7,516	買掛金	6,087
		その他流動負債	10,346
受取手形	16,665	有利子負債	21,133
及び売掛金		(内借入金)	18,550
		(内転換社債)	2,583
棚卸資産	33,059	その他固定負債	7,883
その他流動資産	5,493	純資産	98,717
有形固定資産	57,657	(内払込資本)	94,995
		(内利益剰余金)	2,276
		(内その他)	1,446
その他固定資産	23,776		
NetDebt			13,617
自己資本比率			66.8%



連結地域別売上高(金額) ※据付地ベース

単位: 百万円



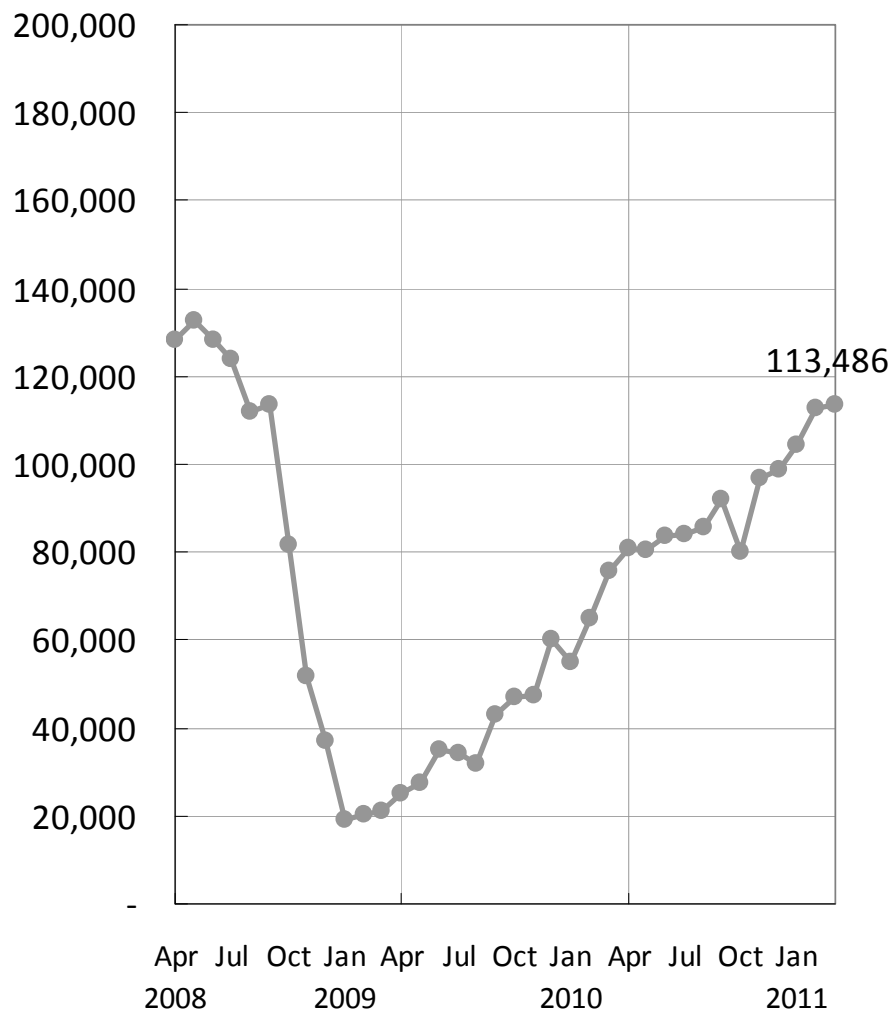
※Americas=USA、カナダ・メキシコ・アルゼンチン・ブラジル EUR=ロシア・アフリカ・中近東含む



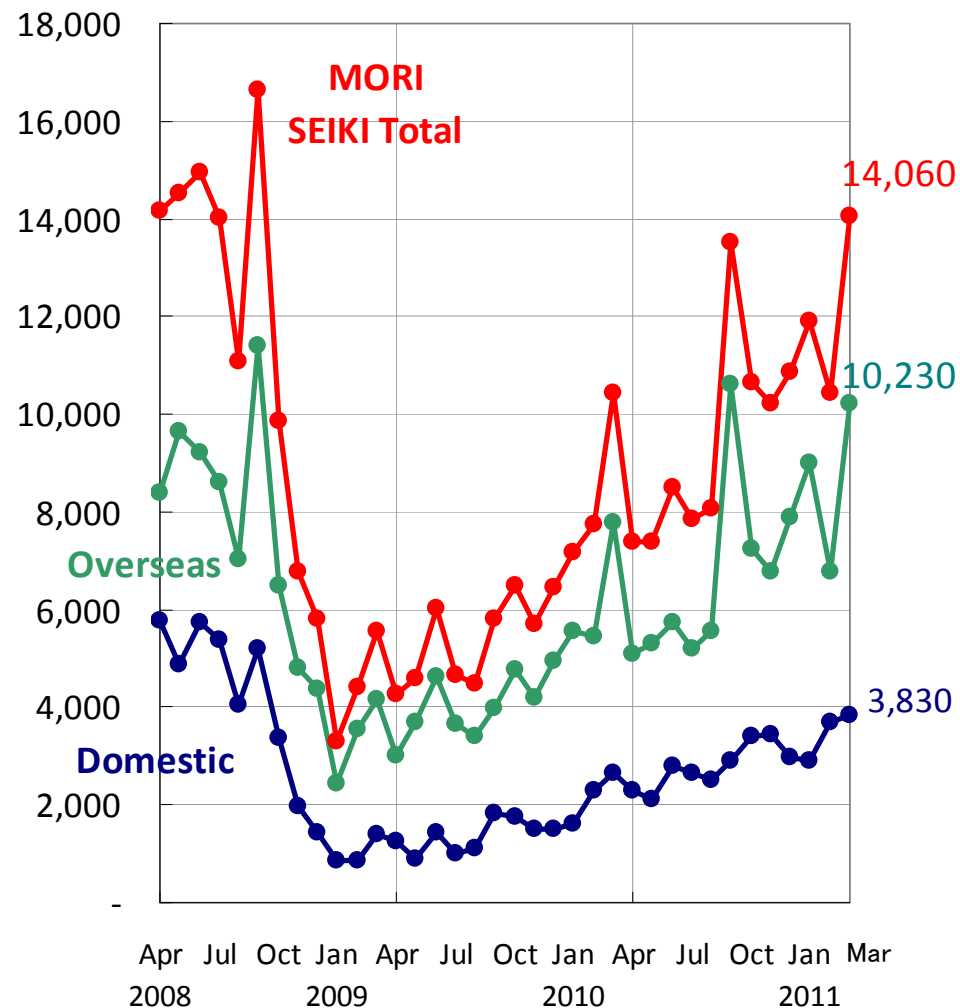
日工会/森精機受注状況

単位: 百万円

日工会受注状況



森精機受注状況

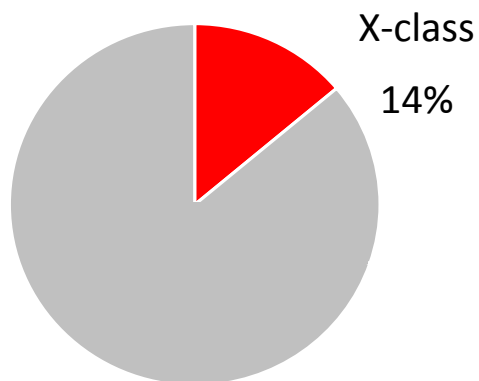




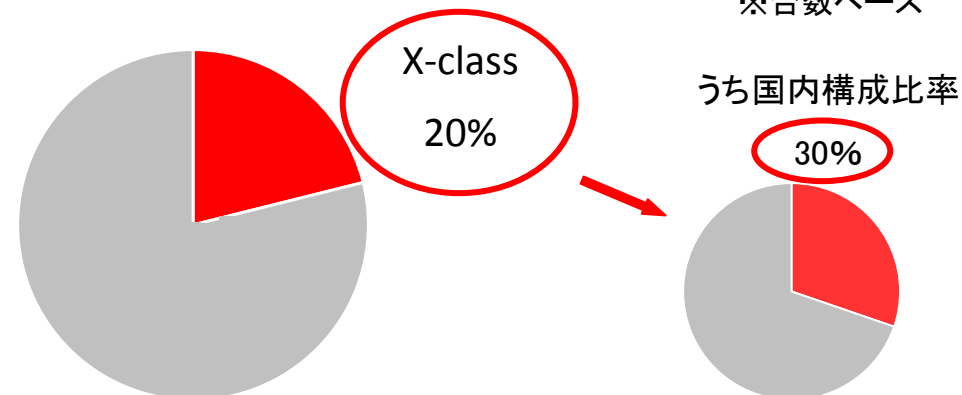
X-class好調



FY2010 3Q(10-12月)受注に
占めるXクラスの構成比率



FY2010 4Q(1-3月)受注に
占めるXクラスの構成比率



旋盤

立形マシニングセンタ

横形マシニングセンタ

複合加工機



NLX 2500/700



NVX5000



NHX4000



NTX2000



展示会（イノベーションデー “X class & DMGショー”）

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

- ・開催期間 : 2011/02/10 - 12
- ・開催場所 : 森精機製作所 伊賀事業所
- ・出展機種 : NLX2500MC/700, NVX5080/40, NHX4000, NTX1000/SZM, DMU 50, DMF 500 linear, ULTRASONIC 20 linear 等
- ・受注状況累計 : 91台
- ・ブース来場者累計数 : 約2,271名

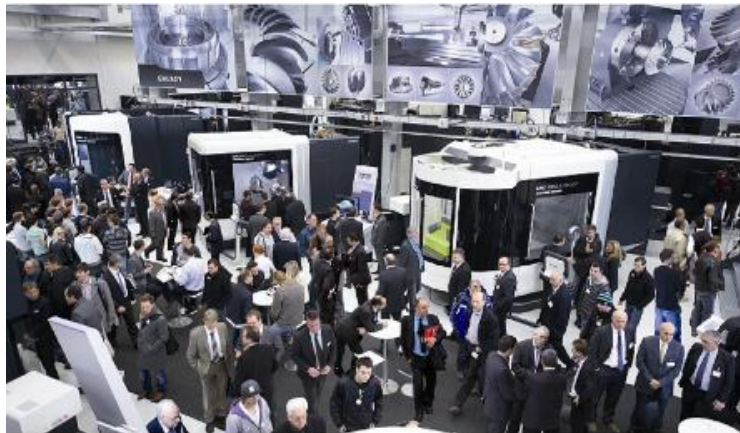




展示会 (DMG フロンテンオープンハウス)

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

- ・開催期間 : 2011/02/01-05
- ・開催場所 : Deckel Maho Pfronten GmbH
- ・出展機種 : NHX4000, NVX5080, NLX2500MC/700, NZL2500Y/600 等
- 共同開発機 : CTX delta 4000TC, CTX alpha450TC
- ・ブース来場者累計数 : 約5,022名

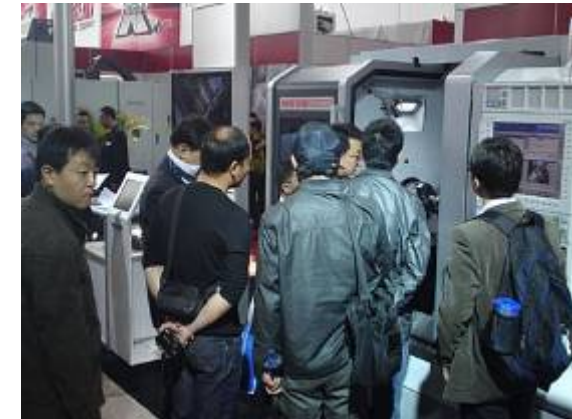




展示会 (CIMT2011 北京ショー)

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

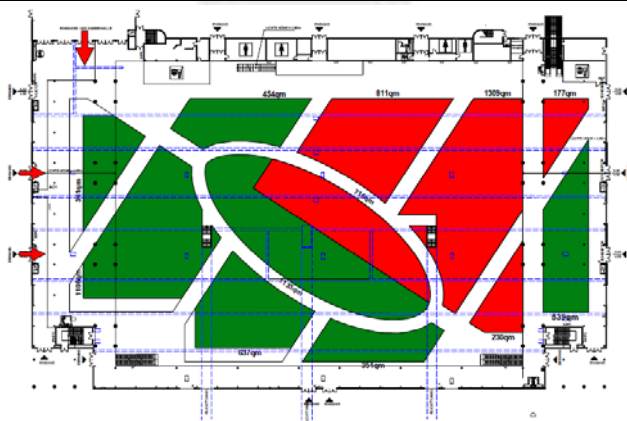
- ・開催期間 : 2011/04/11 - 16
- ・開催場所 : 中国国際展覽中心(新館)
- ・出展機種 : NLX2500MC/700, NHX4000, NH6300 DCGII, DuraVertical 635 eco 等
- ・受注状況累計 : 53台
- ・ブース来場者累計数 : 約5,000名





展示会予定

Date	Country	Place	Exhibition name
05/03-05	Americas	Chicago	Innovation Days 2011
06/20-24	France	Paris	Paris Airshow 2011
06/28-07/01	China	Shanghai	EASTPO 2011 第13回上海国際工作機械見本市
09/19-24	Germany	Hannover	EMO2011
10/17-20	Canada	Toronto	CMTS 2011
11/16-19	Thailand	Bangkok	METALEX2011



EMO2011 ブースレイアウト/イメージ

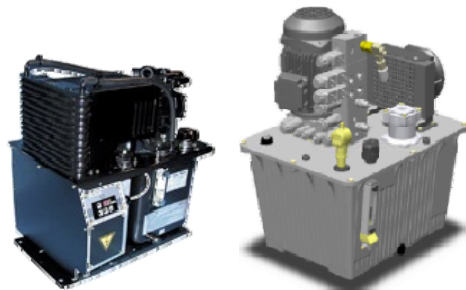


DMGとの提携拡大

調達

部品標準化の推進

- ファンクーラ
- 油圧ユニット
- チップコンベア
- 電装関連部品
- マグネスケール



研究開発

OEM 供給

- NTX1000
- NT6600DCG
- NHX4000
- DuraTurn
310eco
- DuraVertical
635eco



販売およびサービス

協業地域の拡大

2009/07/01

インドネシア, タイ
トルコ, 台湾

2009/10/01

日本

2009/11/01

韓国

2010/03/01

オーストラリア

2010/04/01

米国, インド

2010/07/01

東南アジア
(シンガポール, フィリピン,
マレーシア, ベトナム)

2011/01/01

南アフリカ

2011/04/01

メキシコ



Shenyang・DMGとの中国合弁会社設立検討

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY



会社名	：Shenyang Machine Tool (Group) Co., Ltd.
設立	：1995.12.1
本社所在地	：遼寧省瀋陽市

DMG

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

Shenyang本社工場





マグネスケール

2010年度実績 売上高79億円

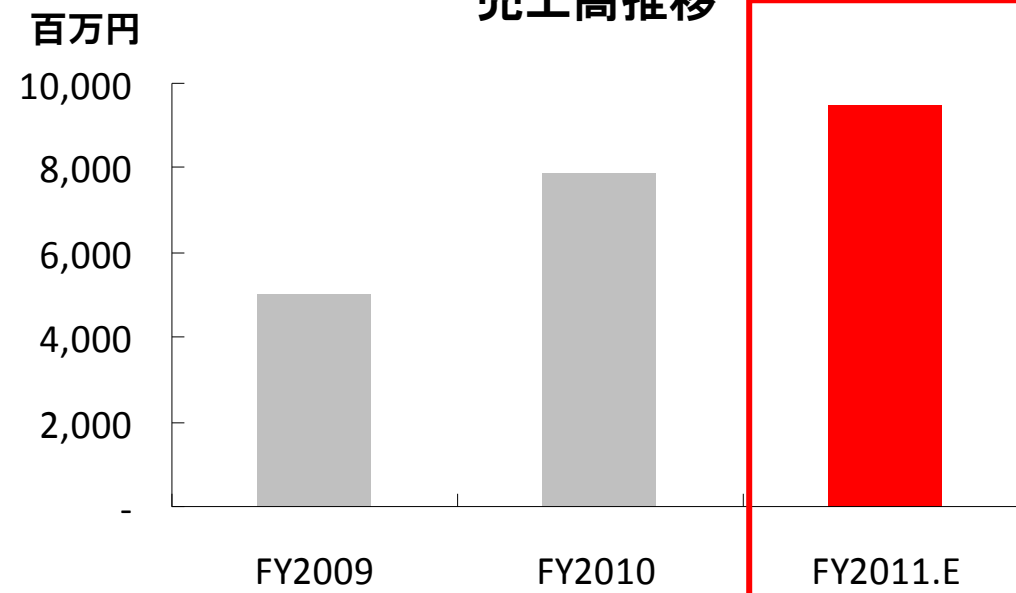
⇒半導体市況の好調と森精機Xクラス標準採用により
売上、営業利益で計画上回る。

2011年度予想 売上高95億円

SR87(NHX、NTXに標準装着)



売上高推移





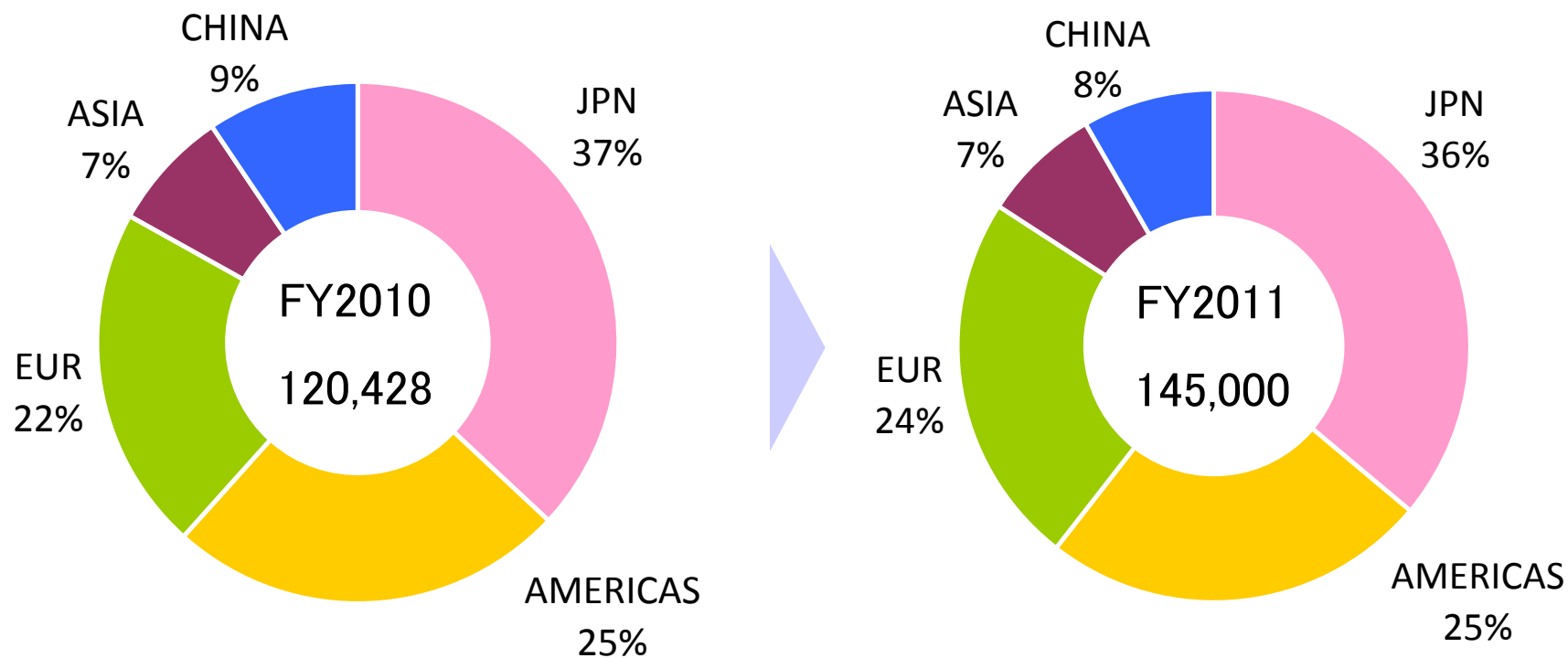
2011年度予想

(百万円)	FY2010	FY2011		
	通期	上期予想	下期予想	通期予想
売上高	120,428	69,000	76,000	145,000
営業利益	320	3,000	5,000	8,000
営業利益率(%)	0.3%	4.3%	6.6%	5.5%
経常利益	566	2,500	4,500	7,000
経常利益率(%)	0.5%	3.6%	5.9%	4.8%
四半期純利益	1,307	2,500	4,500	7,000
換算レート (1 USD= **円)	85.7	83.0	83.0	83.0
換算レート (1EURO= **円)	113.1	115.0	115.0	115.0



連結地域別売上高予想 ※据付地ベース

単位：百万円





第3次中期経営計画(FY11-13)がスタート

GQ-C-SI 123

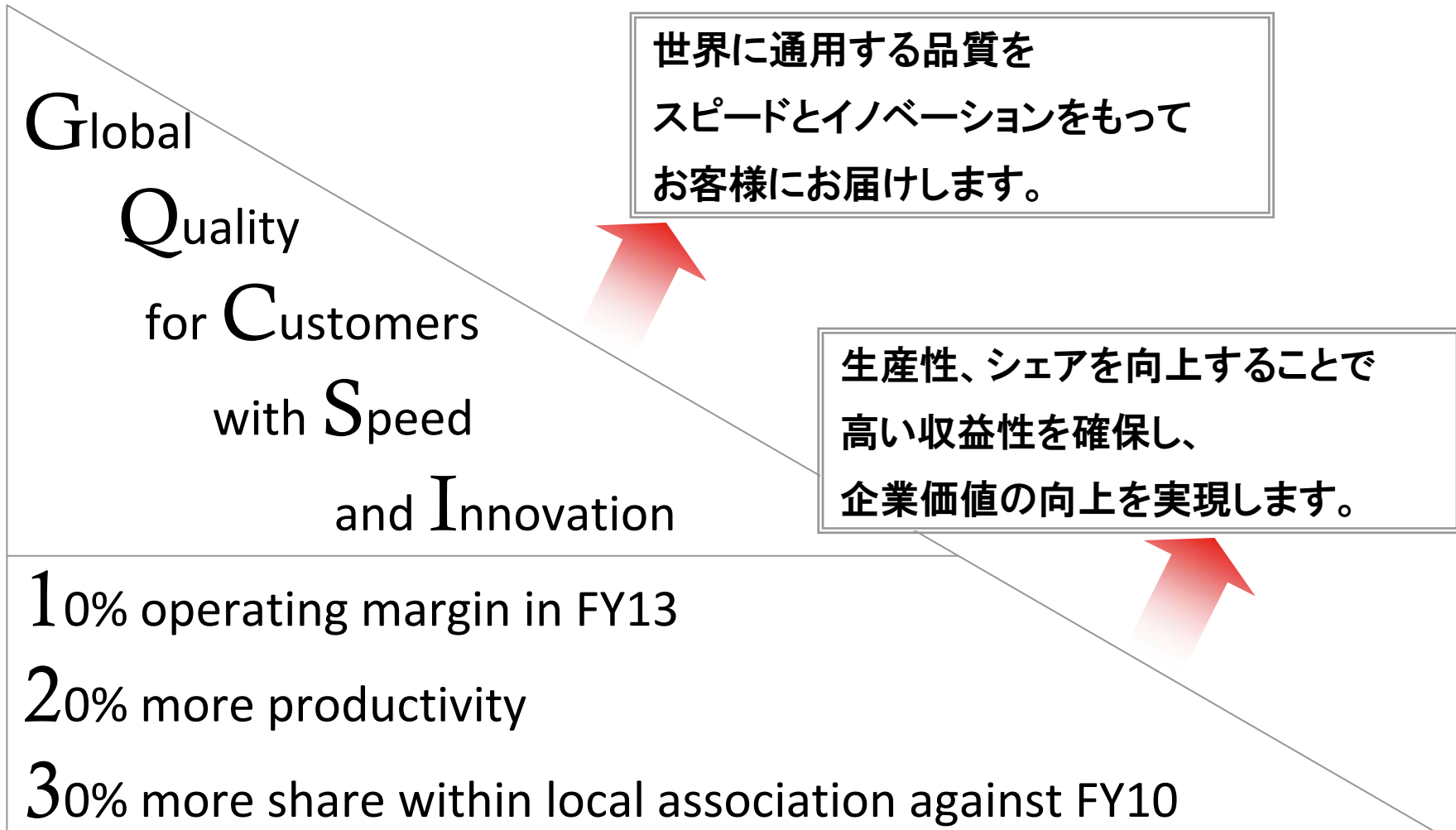
Global Quality for Customers with Speed and Innovation





第3次中期経営計画(FY2011-2013)の骨子

“GQ-C-SI 123”





過去の中期経営計画の骨子

FY2005-2007
Mori-568Plan

【グローバル市場拡大】

Mori-5: 世界受注シェア5%

- ・重要顧客開拓、海外TC拠点の拡充

Mori-6: 連結売上原価率60%

- ・内製化による技術優位追求

Mori-8: 月産800台体制の確立

- ・能力拡大投資
- ・セル生産促進で効率追求

FY2008-2010
PQR555

【経営品質の強化】

P: 人材育成強化

- ・TOEIC、技能ポイント向上

Q: 品質強化

- ・精度向上、PPR改善

R: リスク管理の徹底

- ・輸出管理体制の強化、BCP

5: 日工会シェア15%

55: 連結売上原価率55%



PQR555の結果

5: Share within JMTBA 15%
日工会シェア15%

グローバルでは未達ながら、
米州、欧州については大きく達成。

55: Consolidated cost of sales ratio 55%
連結売上高原価率55%

原価率は未達ながら、
売上原価の変動費比率低減、
固定費削減に貢献。

成長の持続

収益構造の強化

グローバル経営品質の確立

People

グローバル人材の育成、社員教育の浸透を実現

Quality

ばらつき減少、精度向上を実現

Risk Management

リスク管理が徹底された経営体質を確立。(輸出管理、事業継続計画など)



GQ-C-SI 123のビジョン

先進的なソリューションを持つ、一步先を行く企業

森精機は、工作機械産業において新たな価値を創造します。
お客様へ先進的なソリューションを提供し、一步先を行く企業となります。

Peripherals



Machining Technology



Machine



Software



Maintenance & Education





GQ-C-SI 123の戦略

Robust Factory and Sales Network
強い工場と強い営業

納期と品質の厳守

トヨタ生産方式の導入

Alliance with DMG
DMGとの協業

販売地域の拡大

開発や製造における連携強化

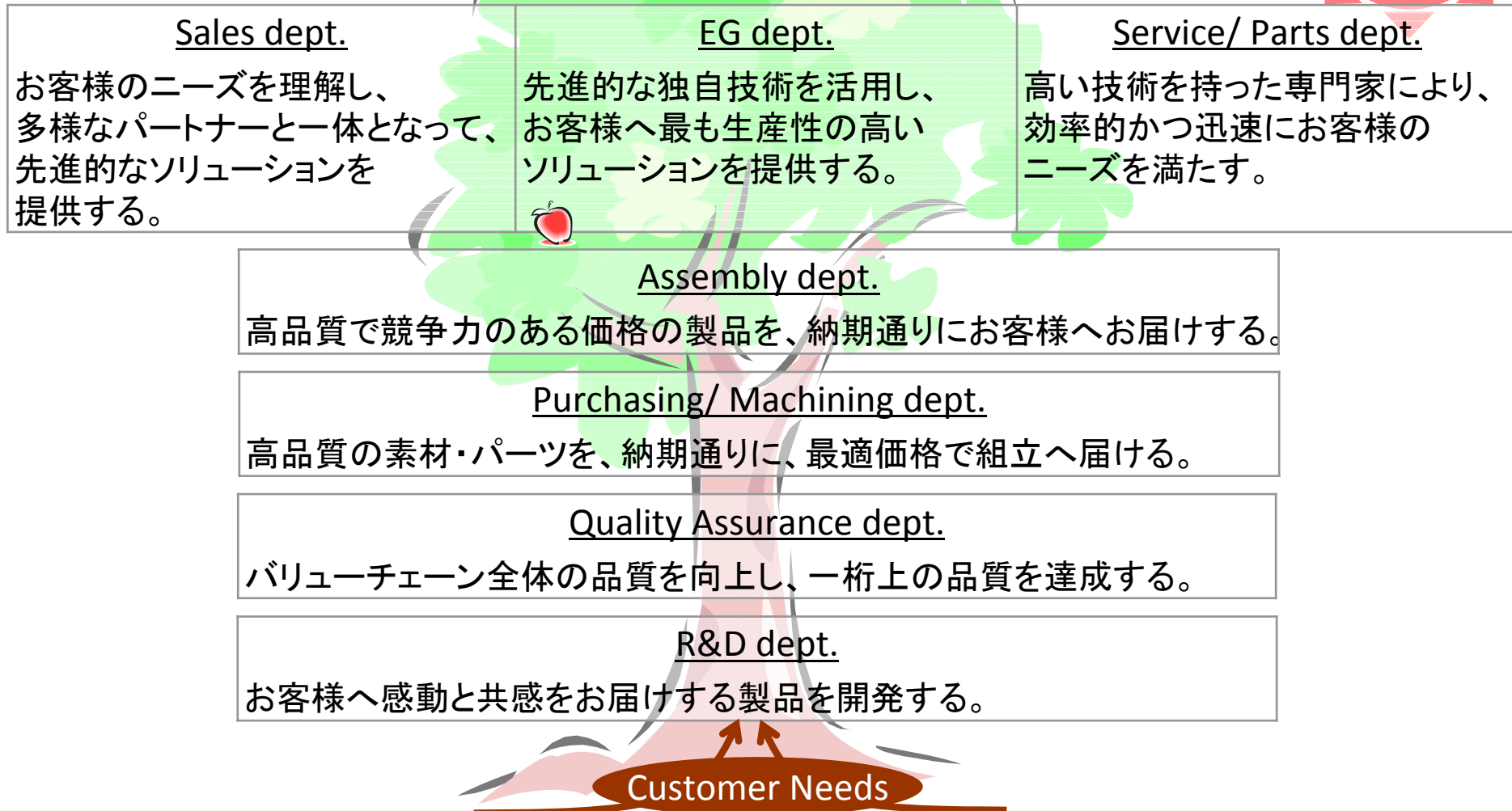
Higher Level Quality
一桁違う品質

製品の品質 (精度、見た目)

業務の品質 (社内外への対応、マナー)



ビジョンツリー: お客様満足を生み出すための各部の役割を木で表現





グローバル人材の3要素



Innovation

Communication

Business Ethics



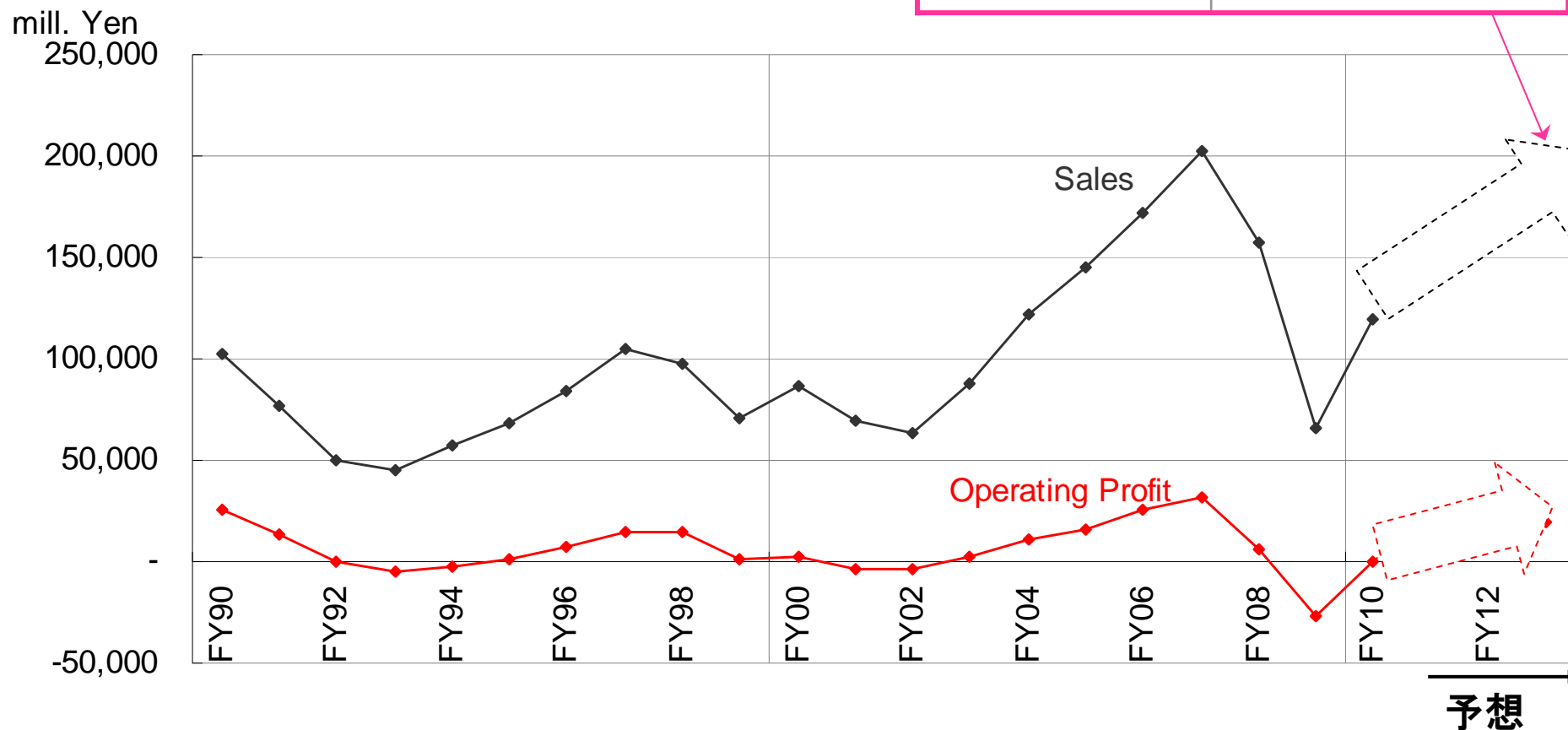
“迅速な対応”

- ダイバーシティ
- 行動と実行
- 実験と検証
- 専門性
- 知識と智恵
- 創造力
- チャレンジ精神
- 情熱
- 英語
- マナー
- チームワーク
- 陽気な職場
- リーダーシップ
- お客様と地域社会への責任
- 安全
- 環境
- 不断の努力
- 品質



目指す売上高と営業利益

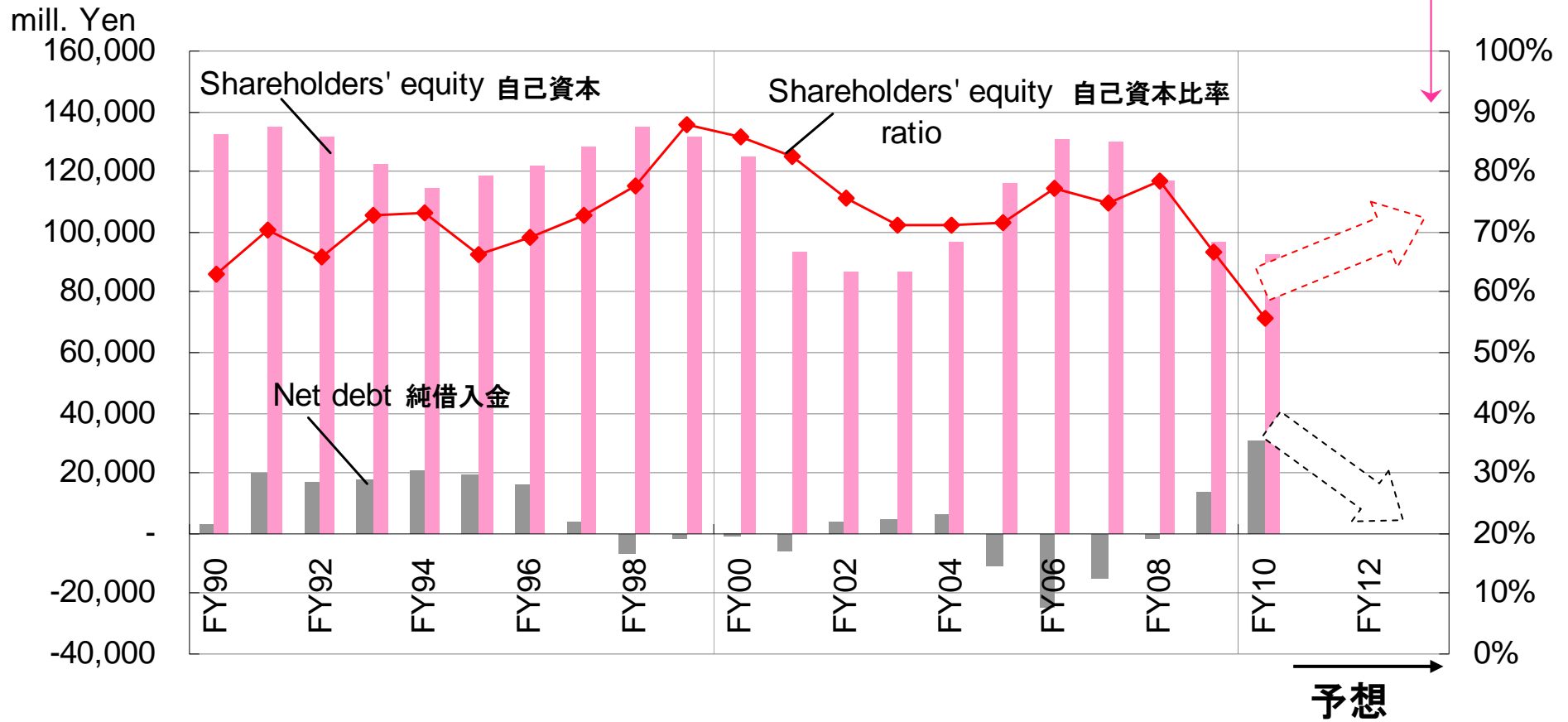
FY2013	
売上高	1,800 億円以上
営業利益率	10 %以上





目指す財務体質

FY2013	
自己資本比率	70 %以上





設備投資計画

3年間の設備投資合計 … 200 億円 (検収ベース)

主な投資内容

伊賀 新加工工場	50 億円
----------	-------

北米工場	50 億円
------	-------

マグネスケール	35 億円
---------	-------

IT関連	30 億円
------	-------

中国ソリューションセンタ (上海、北京、天津、広州)	5 億円
-------------------------------	------



開発計画

▪ Xクラスの拡充と熟成



▪ DMGとの共通プラットフォーム
(NTX, NHXシリーズ)



お客様に付加価値を提供する
技術の熟成

主なXクラス新機種(FY2011)

NLX1500, NLX2000,
NLX2500, NLX3000
NVX5080, NHX5500,
NHX6300,
NTX2000

ギア加工、ホブ加工、
ハードターニング、
ロングボーリングバー、
付加軸、研削技術 etc.



参考資料

(百万円)	2009年度	2010年度		2011年度通期 (予想)	
				(前期比 伸び率)	(前期比 伸び率)
売上高	66,402	120,428	81.4%	145,000	20.4%
国内売上高	19,085	44,531	133.3%	52,200	17.2%
海外売上高	47,317	75,895	60.4%	92,800	22.3%
米州	17,398	29,695	70.7%	35,700	20.2%
欧州	20,577	25,912	25.9%	34,200	32.0%
アジア (中国含む)	9,341	20,288	117.2%	22,900	12.9%
営業利益	-26,933	320	-	8,000	2400.0%
経常利益	-26,599	566	-	7,000	1136.7%
当期純利益	-34,693	1,307	-	7,000	435.6%
為替レート 1US\$ =	¥92.8	¥85.7	-	¥83.0	-
1EUR =	¥131.2	¥113.1	-	¥115.0	-
設備投資	6,800	4,600	-32.4%	7,000	52.2%
減価償却費	7,286	6,635	-8.9%	7,000	5.5%
研究開発費	5,632	4,809	-14.6%	5,000	4.0%



アナリスト説明会のQ&A

Q: DMGへの投資により借入金が大きく増加している。財務バランスの悪化に関する見解を聞かせてほしい。

A: 今回DMG株の持分比率を20.1%にまで増やすことで、追加の利益がそのままCashFlowの改善に貢献し、借入金の圧縮につながる見込みである。
その結果、70%以上の自己資本比率に回復したいと考えている。

Q: 今期の計画が売上高1,450億円で営業利益80億円とのことだが、もう少し利益が出ても良いのでは？

A: 2010年度と比較し、2011年度はX-classの割合増加や生産性向上によるコスト減を見込む一方で、人件費の増加、素材価格の上昇など、コストが増加する面もあると考えている。
現時点では、震災の影響が不透明な部分もある。

Q: 震災の影響について 受注・調達等問題はないか？

A: 当社の受注構成においては、自動車関連のお客様の比率が一番大きく、自動車の生産見通しが不透明な部分は不安ではある。
調達面は、概ね問題ないと考えている。

Q: DMGとの協業について、収益への貢献度が少ないように思える。

A: 販売面では、協業地域で着実にシナジー効果が現れている。また協同購買も予定通り進展している。
今後生産面、開発面でも協業の効果が現れてくる見込みである。



アナリスト説明会のQ&A

Q: Shenyang、DMGとの合弁会社設立について、狙いを教えてほしい。

生産する30番テーパのマシニングセンタは競争が激しいのではないか。

A: 30番テーパのマシニングセンタは、自動車業界などでも使って頂いており、今後中国市場でも需要は大きいと考えている。

当社としては、競合企業とは差別化した技術、仕様を駆使し、中国のお客様の実情、仕組みをより理解して、拡販につなげたいと考えている。

Q: 今後の中国市場について、どう見ているか。

A: 短期的に2-3年のスパンで見れば、中国市場はまだ多種多様なメーカーが乱立する状況が続く中での競争となるだろう。

長期的に10年程度のスパンでは、中国の工作機械メーカーは、淘汰されていくのではないかと予想している。

Q: 為替の感応度は？

A: 2011年度は、1円の為替変動に対し、売上高でドル4億円、ユーロ3億円程度の感応度を見込んでいる。

(回答者:取締役社長 森 雅彦、取締役副社長 経理財務本部長 近藤達生)



MORI SEIKI

THE MACHINE TOOL COMPANY